

# 議会だより

NO.22

 吉野川市



市民一丸となって「美しいまちづくり」  
をめざし取り組んでいる

「レッツクリーン・環境美化の日」  
妹尾英光（鴨島町）



## 目次

代表・一般質問 ..... P 2

議案の審議から ..... P11

クイズ ..... P14

市民のページ ..... P15

市民の皆さんへの募集 ..... P16

■ 発行／吉野川市議会  
■ 住所／〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
■ TEL. (0883) 22-2241

■ 編集／議会広報特別委員会  
■ FAX. (0883) 22-2242

2010.5.25

## 代表・一般

ここが聞きたい

## 質問

3月議会定例会では12名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

## 代表質問

## ①近 久 善 博 議員

- 吉野川市庁舎一元化について
- 庁舎増築棟について
- 川島・山川空き庁舎の活用について
- 本郷春日免線工事の進捗状況について
- 第二次行財政改革案について

## ②後藤田 哲 夫 議員

- 嘱託員設置要綱及び臨時職員の任用等に関する規程について
- 緊急雇用創出事業の趣旨、事業実施要綱について
- 美郷土用地の産業廃棄物焼却施設の資金出資内容及び設置内容と周辺住民の理解と対応について
- 吉野川市行財政改革及び予算編成と社会資本整備総合交付金等今後の取り組みについて
- 認定こども園と国の施策について
- 温泉4施設の売却、廃止と報道された経緯について

## ③高 木 純 議員

- 公契約条例について
- 下水道接続率の向上について
- 住宅用防災警報器設置事業の進捗状況について
- 市幹部職員の育成について

## 一般質問

## ④乗 原 五 男 議員

- 商店街の活性化について
- 市内の温泉施設について
- 次代を担う子どもたちの育成について
- 下水道事業について
- 工事現場の施工確認について

## ⑤玉 水 好 夫 議員

- 美郷中学校休校に伴う児童生徒への対応と美郷の将来の展望について

## ⑥細 井 英 輔 議員

- 牛島地区氾濫解析事業について
- 県道宮川内牛島停車場線について
- ⑦増 富 義 明 議員
- 市有財産の管理について
- 指定管理制度について

## ⑧岡 田 光 男 議員

- 市長の政治姿勢（市内温泉4施設について）
- 子宮頸がん予防ワクチンの接種について
- 生活保護について
- 宝くじの助成事業について
- 臨時職員の雇用について

## ⑨相 原 一 永 議員

- 地上デジタルテレビ放送について
- 介護保険について
- 小学校・中学校の通学路について
- ⑩川 村 洋 樹 議員
- 下水道整備について

## ⑪枝 澤 幹 太 議員

- 吉野川市総合計画について
- 行財政改革大綱及び実施計画について
- 都市計画区域について
- 市職員の諸手当について
- 救急医療体制について（JA協同病院等【中核】）

## ⑫岸 田 秀 樹 議員

- 安全・安心なまちづくりについて
- 危機管理について

## 代表質問



近久善博 議員  
(薫風会)

## 吉野川市庁舎一元化は

(質問)

## 平成24年度庁舎統合の完成を目指す

(答弁)

◎質問 市役所庁舎の統合に関し市長提案で平成22年度一般会計予算案に庁舎関連経費として土地取得費など約2億9000万円が計上されている。そこで建設予定場所・増築棟の規模・事業費・合併特例債の活用度合・工事に関するスケジュール・支所の役割などについて伺う。

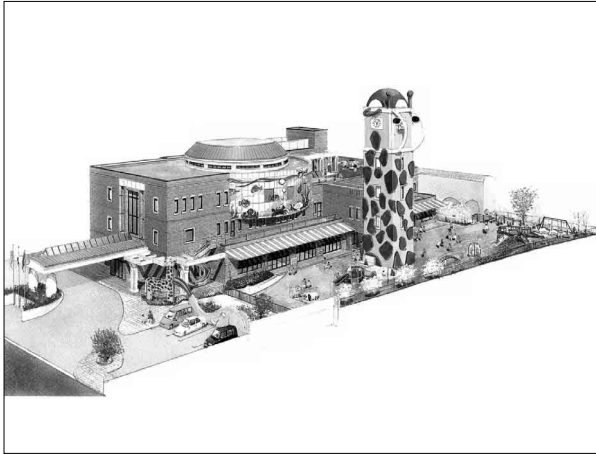
○政策監 建設用地は、進入路を含めて、現庁舎の東側で県有地と個人所有地合わせて1万789㎡を購入予定で、増築棟は3階建て延床面積3000㎡

より一般財源は約3億円程度となる。完成は平成24年度内を目指す。

◎再問 庁舎統合に伴う増築棟建設が予定されているが、市有林の木材の利用、環境に配慮したLEDの採用、太陽光発電の導入など取り入れてはどうか。

倉庫棟は2階建て600㎡、事業費は約15億5000万円となり、有利な合併特例債を活用することに

◎総務部次長 増築棟の設計に当たっては木材の利用、省資源・省エネルギーに配慮し、LED照明等の取り入れも含め、



幼稚園・保育所に予定(川島庁舎)

環境及び経済性・耐久性に配慮したバリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れ、市民の使いやすい施設にしたいと考えている。

◎再々問 空き庁舎となる川島・山川庁舎のこれまでの経過を踏まえ保育所・幼稚園の再編は。また合併特例債の有効期限内に実施するのか伺う。

◎市長 空き庁舎の活用については保育所運営検討委員会や、幼稚園あり方検討委員会での答申や提言を踏まえ、合併特例債が活用できる期限内に庁舎の統合、幼稚園・保育所の連携再編に向け取り組み、支所機能についても十分配慮した機能を有するものにした。

## [その他の質問]

◎質問 本郷春日免線の工事進捗状況は。

◎答弁 平成24年4月に供用開始できるよう努力

する。

◎質問 第二次行財政改革5か年間の目標は。

◎答弁 庁舎統合、職員数の適正化等で13億5000万円程の減額見込である。

\*\*\*\*\*



後藤田 哲夫 議員  
(麻植会)

## 臨時職員、嘱託職員の設置要綱について

(質問)

## 勤務条件等を見直し進めたい

(答弁)

◎質問 臨時職員、嘱託職員の任用規定及び勤務条件によれば、臨時職員は一年勤めて一年休む雇用体系だが、県と同じ規定にできないのか。また、市の都合で臨時職員を嘱託職員に、嘱託職員を臨時職員に変更した理由と給与の体制について。また、臨時職員に公用車を使用させないのはなぜか以上伺う。

◎総務部次長 平成22年度に臨時職員の勤務条件等取り扱いについて見直しを進めたい。

職種については合併当時に職務内容により見直した。給与体系については年収額を算定根拠として月額に割り戻した報酬額とした。

臨時・嘱託職員に対する公用車の使用は、事故等の対応も含め、今後公用車の使用が必要な場合は可能としたい。





高木 純 議員  
(日本共産党)

### 公契約条例を検討しては

(質問)

### 十分精査し検討する

(答弁)

ことである。公契約条例を研究すべきと思うが市の見解を伺う。

○市長 過度な競争によるしわ寄せが人の賃金にかかるのは好ましくないと考えるので、公契約条例等、十分検討したい。

リフォーム助成を行って職人の仕事確保につながるようにしている。そこで、下水道接続を条件とした住宅リフォーム助成を行えば、接続率も上がり、地域経済の活性化にもつながるが検討してみたい。

○市長 下水道の接続率が低いのは問題であり、それに対しリフォーム助成を行うことで接続率を上げていくという提言を十分研究したい。

## 一般質問



柴原五男 議員

### 低炭素型まちづくりを推進しては

(質問)

### 今後検討したい

(答弁)

○質問 市をあげて環境にやさしく、お金のかわらない低炭素型まちづくりを推進し、また鴨島駅前商店街にたくさんある空き店舗を市主導で活用等を進めていくべきと思うが考えを伺う。

#### [その他の質問]

○質問 市内の温泉施設検討委員会のメンバーは、

○答弁 学識経験者を含め10名程度。

○質問 鴨の湯の従業員採用方法と人数は。

○答弁 面接と書類審査などの採点方式で26名心



リフォームで新しい生活を

○産業経済部長 低炭素型まちづくりの趣旨は、地球温暖化対策の観点から温室効果ガス排出量を大幅に削減するため、自然エネルギーを活用し、低炭素型の地域づくりを進めることで、地球規模で考えていかなければならない重要なことだと思

○質問 公契約条例とは自治体が公共事業とか業務委託を発注するさいに、元請け業者に対して、従事する労働者の賃金の最低水準を義務づける制度で、千葉県の野田市で22年度から制定され全国から注目されている。本市の公共事業は競争入札で行っているが、不況により過度に競争がすすみ、落札価格が最低制限価格近くになり、くじ引きで落札者が決まることもある。そのような受注は当然工事の品質低下にもつながりかねず、結局はそこで働く労働者の賃金の低下になる可能性が高い。事業によっては人件費比率が40%を上回

るものもある。市が発注する事業において、そこで働く労働者の最低賃金を保障させることは、市民の生活を守る自治体として行うべき

○質問 徳島県は建設産業従事者が多く、本市も同じである。その建設関連が不況に喘ぎ、建設職人が仕事不足で困っている。他の自治体では住宅

○市長 下水道の接続率が低いのは問題であり、それに対しリフォーム助成を行うことで接続率を上げていくという提言を十分研究したい。



人通りの少なくなった鴨島駅前通り

募があり3名採用した。

◎質問 校庭の芝生化は。

○答弁 学校関係者や地域の方々の意見等を聞き、協議したい。

○答弁 少しでも繰出し金を減らすため効率のよい下水道整備、また接続率向上に努力したい。

◎質問 公共工事等の施工中と施工後のチェックは。

○答弁 施工中は現場監督と随時協議を行い、完了後は工事竣工検査を行っている。

◎質問 年間8億円も一般会計から繰り出している下水道事業の今後の見通しは。

## 美郷地区活性化への展望は

(質問)



玉水好夫 議員

## 自然を生かした美郷づくりを支援

(答弁)

◎質問 美郷中学校休校に伴う児童・生徒への対応と美郷の将来の展望について。

①地元から離れた学校に通うことになるが、ふるさとを誇りに思える子どもにするため、今後学校教育をどう進めるか伺う。  
②学校休校に伴い過疎化が急速に進むことを心配するが、今後の地域活性の施策を伺う。

○教育次長 今後もふれあいを大切にした多様な学習活動、郷土や地域の文化への理解を深め、郷土に誇りを感じ、大切にしたい。心身の育成に努めてまいります。



過疎化が進む美郷地区

○教育長 ふるさとに誇りを持つために地域との交流学習や体験学習など、人とのふれあいを大切にしたい。多様な学習活動を展開し、吉野川市を誇りに思う児童・生徒の育成とこの学校に学んでよかつ

たと一人一人が胸を張って言える学校づくりを推進していきたい。

種野小学校が存続していただけるよう今後とも強く支援していきたい。

○産業経済部長 「活力のある美郷地区・キレイのさと美郷」として、二月の梅の花祭り、四月の高開石積み芝桜、六月のホタル、十一月の梅酒、十二月の石積みライトアップと年間五回のイベントを開催し、今後も全

国に発信し活性化を図りたい。

◎再問 町を活性化させ暮らしやすい町への明るい展望を伺う。

○産業経済部長 都会からのUターンへの情報発信や、農家民宿の活動などリンクさせ、人の集まる美郷、自然を生かした魅力ある美郷づくりに市はできる限りの応援をしていきたい。

\*\*\*\*\*



細井英輔 議員

## 牛島小学校の通学路に歩道橋を設置しては

(質問)

## よい方法を最大限努力したい

(答弁)

◎質問 県道宮川内牛島停車場線は、平成22年度中に完成する予定であるが、牛島地区の交通事情

が大きく変わっていく事業である。  
①隣接する市道はどのようになるのか。また、

排水、水害対策も出来ているのか伺う。  
 ②地域説明会が実施されたと思うが県から報告があったのか伺う。  
 ③現在の通学路を分断する形で施工しているが、通学路の計画はどのようになっているのか伺う。

○建設部長

①市道と県道が交差する部分は一定の緩い勾配で市道路面と一致する箇所まで側壁

の改良、舗装復旧が行われ、側道下に設置されている排水管によりJRから北側は江川に、南側は飲尾川に直接排水される計画である。道路の新設により内水害が発生することはないと考える。

②用地関係者に



安全が心配される通学路（牛島地区）

事業説明し、小学校に對しても説明を行い協議していると思っております。

③牛島小学校・幼稚園に通う児童・園児の約45%が利用する通学路で、北から高架を下り切った場所に位置するため、安全確保に配慮が必要な箇所であり、小学校から問題点も出されており、市としても十分な検討が必要な箇所と認識している。

◎再問 宮川内牛島停車場線が完成すると、国道318号線より交通量が増加すると思うが、安全・安心なまちづくりのためにも、また事故が発生してからは遅いと思う。市として県に歩道橋の設置を要望すべきではないか。

○市長 子どもたちの安全を最優先に考えると、歩道橋の設置も検討の一つと考えている。通学の実態を十分把握し、警察・

保護者・地域の方々と十分協議し、子どもたちが

\*\*\*\*\*

安全に通学できるように一番よい方法を最大限努力したい。

「その他の質問」

◎質問 牛島地区氾濫解析事業の範囲と進捗状況は。

○答弁 地域を8か所に設定し、3月末に報告書が提出される。

◎質問 麻植塚地区の水対策は。

○答弁 報告書を精査し、可能な方法を考えたい。



増富義明 議員

公有財産を積極的に処分しては

(質問)

公有財産活用検討委員会で積極的に検討する

(答弁)

◎質問 本市では多額の借金を抱え、厳しい財政

状況が続いており、公有財産の処分は歳入確保の

あると思われるが、以上について伺う。

○総務部次長 財政状況が極めて厳しい中、歳入確保策として市が保有する資産を活用することは重要な課題の一つであり、市が保有する公有財産の有効活用及び処分について、4回公有財産活用検討委員会で検討してきた。しかしまだ具体的な取り組みは行っており、今後審議会等の設置を検討したい。公有財産の今年度の維持管理費は所管が多岐に渡っているため、かなりの予算を投入している。歳入確保の面から処分・貸し付けを行ってまいりたいと考えている。

◎再問 全国的に自治体がインターネットオークションを活用して、公有財産を売却している。本市としても取り組み予定はあるのか。

面からも非常に重要になる。利用していない私有地については民間等への売却を検討する事が重要と思われる。また、行政財産の中で自治会や団体等が利用しているものもたくさんあると思われるが、不用に近いものは、条件をつけて無償で譲渡したりするのも一つの手段ではないか。  
 本市には、公有財産活用検討委員会があるが、十分に機能しているのか。また、土地等の売却については、行政ではなかなか難しい状況にも直面すると思われる。審議会等を設置し本格的に公有財産の売却に取り組まれたらどうか。また、公有財産の維持管理費は年間いくらか。  
 人員削減をしている中、職員の仕事量も増え、財政的にも非常に厳しい状況の中、歳入確保及び維持管理費の削減、住民サービス向上の観点から、この公有財産の売却はすべてにおいてメリットが



○総務部次長 公有財産の処分の方法等については、オークションや市のホームページ等を利用するなどを、今後の公有財産活用検討委員会の中で研究・検討をしていきたい。



平成22年4月から指定管理になった山川東保育所

### 【その他の質問】

○質問 指定管理に出している施設の売却は考えてないのか。

○答弁 売却を視野に入れて積極的に検討していく。



岡田光男 議員

## 子宮頸がんの予防接種に公費助成は

(質問)

## 今後検討したい

(答弁)

○質問 新聞報道によると、「子宮頸がんは予防する時代に、若年層に接種を勧める」とある。また、市内の病院でも「子宮頸がんの予防接種を推進」といったポスターも張り出されている。子宮頸がんは、最近では20歳代の女性の中に急増して、年間1万5000人が新たに感染し年間3500人も女性の死亡数という状況にある。

この子宮頸がんは主に性交渉によって感染すると言われ、性行動を始める前の10歳代の女性がワクチンを接種することでほぼ100%感染を防ぐ画期的なものとなっている。

世界では100か国以上でこのワクチンが使われ、法的な支援も始まっている。日本でも幾つかの自治体で公費助成をしており、石井町でも11歳から14歳の女性に3回分が予算化されている。命を大切にするという意味でも公費助成が必要でないかと考えるが。

○健康福祉部長 子宮頸がんは、ほぼ100%がヒトパピローマウイルス、HPVというウイルスが原因であると説明されている。HPVに感染しても90%は自然に免疫で排除できるが、感染者の10%程度はHPVを持ったまま

まの感染状態となり、そのうち0.15%程度が子宮頸がんに進展すると推定されている。

最近、子宮頸がんを予防するワクチンが開発され、日本でも平成21年10月に厚労省より承認され、一般の医療機関でも接種可能となり、20代から30代の女性に子宮頸がんが多いため、10代の接種が推奨されている。

ワクチンの接種については6か月間に3回の接種が必要で、費用は4万円から6万円と言われている。公費での助成について

は国、県の動向も注視し、今後検討してまいりたいと考えている。

### 【その他の質問】

○質問 温泉4施設の廃止や売却は市民の声を聞くべき。

○答弁 温泉施設検討委員会を設置し、温泉運営のあり方について検討。

○質問 生活保護受給者数増加による、ケースワーカー不足はないか。

○答弁 受給者数の経緯も見ながら検討したい。



早期予防が一番

◎質問 宝クジ助成事業の募集方法は。

○答弁 要望の掘り起しのため、助成制度の情報提供、制度周知を検討したい。

◎質問 臨時職員の雇用は市が直接すべきでないか。

○答弁 人員確保が難しい状況もあり、派遣雇用も検討している。



相原 一永 議員

### 地上デジタル化について市民に周知出来ているか

(質問)

### デジサポ徳島に広報活動の工夫をお願いしたい

(答弁)

◎質問 来年7月の地上デジタル化で県内はチューナーを接続しても、地上デジタル対応テレビを購入しても、ケーブルテレビ等に加えなければ従来通りの複数の放送局を見ることが出来ず、四国放送とNHK・教育テレビしか見えなくなる。見

えなくなる地域は全国で佐賀県と本県だけだと言っているが市民に周知出来ているのか。

○総務部長 デジタル化に伴う、関西波の問題については、電波が届かない所は見えないといったことを説明しているが、

周知については必ずしも十分ではないのでデジサポ徳島に連絡をした。また、今後の広報活動の工夫をお願いしたいと考えている。

◎再問 ケーブルテレビ等に加入する為には10万円前後の費用と屋内配線工事費が必要で、月々の利用料も払わなければならないが、一人暮らしの国民年金で生活をされている方にとっては、非常に負担が大きい。市として県や国に対して助成措置の支援策の充実を求め

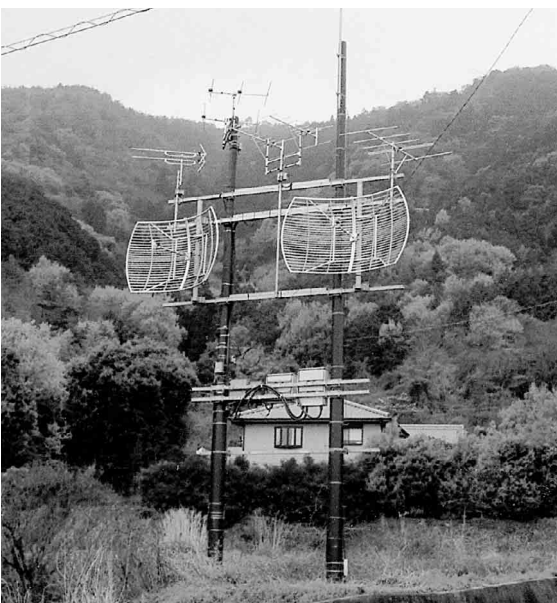
る要望を出しているのか。

○市長 デジタル化については、全国的な課題である。今後、国の新年度予算の詳細等情報収集をし、必要に応じ国等へ要望を行っていききたい。

#### [その他の質問]

◎介護保険制度で要介護認定の申請から認定まで時間が長くかかっている様だが。

○答弁 訪問調査や認定審査の日程を優先的に短い最速2週間で認定可能



地上デジタル化へのアンテナ設備

◎小中学校の通学路の安全確保について。

○答弁 教職員や保護者が実際に歩き、防犯の観点や交通事故等を配慮し、安全な通学路を設定している。



川村 洋樹 議員

### 庁舎統合に伴う、山川・川島庁舎の活用について

(質問)

### 財政状況を見て検討

(答弁)

◎質問 庁舎統合後の空き庁舎の有効活用について、保育所・幼稚園以外の活用は、どのような方法で意見交換や審議が行われたのか。

ズの把握など意見を十分に聞いて、子育て環境の整備を図れるよう進めていきたい。

○総務部次長 保育所運営検討委員会・幼稚園あり方検討委員会での答申・提言を踏まえ、庁舎統合検討会で検討している。

◎再問 厳しい財政状況の中、空き庁舎の有効活用については、相乗効果のある活用を市民は望んでいるが、保育所・幼稚園ありきで進んではいないか。

○市長 公民館とか図書施設改修等、保護者ニ

館等も考えられるが、子





保育教育の場となる予定（山川庁舎と生涯教育施設の公民館）

育て支援に重点を置いて、財政面も考え、まず少子化に対する保育教育の環境整備をしたい。

◎再々問 来たる将来、団塊の世代層が老後を迎える中、文化活動や、老

人会活動が増加すると考えられる。少子高齢化問題を同時に考えるなら、山川庁舎においては、公民館、多目的ホール等としての活用が望ましいと思われるが、長期にわたったビジョンの中で計

画を進めるなら、改めて検討してはどうか。

○市長 公民館・消防会館・保育所・幼稚園等全体の財政状況をみて検討していきたい。

### 【その他の質問】

◎質問 下水道交付金が削減となり下水道整備計画の見直しが必要でないか。

\*\*\*\*\*

○答弁 下水道全体計画等の見直しを行い効率的な整備を行う。

◎質問 川島庁舎発着の高速バス利用者の駐車場確保は。

○答弁 川島体育館前に3台分確保している。今後、利用増に応じ駐車場増も検討したい。



枝澤 幹太 議員

### 都市計画区域施行後の成果は

(質問)

無秩序な乱開発を防ぎ機能的な都市活動を確保できた

(答弁)

◎質問 昭和46年5月徳島県東部都市計画区域として決定され、市街化区域、市街化調整区域の線引きのある区域であり、施行後40年が経過している。同法施行時は、戦後

最も経済発展が著しく、人口も増加し、それに伴い、農地が宅地化している、中心市街地では商店街が充実し、交通量も、車社会の到来により大幅に増加し、一体的に都市



新設の都市計画道路（本郷・春日免線）

として総合的に整備、開発、あわせて保全する事が必要となり、鴨島町が

この計画に参画した経緯がある。この法律施行後の成果を伺いたい。

○建設部長 街路計画7路線の改良延長59%、3路線は既に供用開始している。本郷春日免線は平成23年度末完成予定。下水道は供用率60%を達成し、水環境に多大な功績を上げている。公園整備率は44%となっている。市街化区域の中に用途地域を指定することで一定の規制により良好な市街地が形成されている。市街化調整区域では農地保全の観点からも無秩序な乱開発を防ぐことができ、快適で安全、安心なまちづくりに向かっていくと考える。

○建設部長 市民や関係者から意見を聞き、都市づくりの基本理念、区域区分の決定の有無及びその方針等について、長期的な視点に立った都市の将来像を明確にする為、早期にマスタープランを策定し、今後の方針を決定したい。

【その他の質問】

○質問 市職員の住宅手当支給を見直す考えは。

○答弁 県人事委員会報告を踏まえ、各市町村の状況を見守り、対応を考えていく。

○質問 職員駐車場の有料化は。

○答弁 現時点では考えていないが今後の課題としたい。



岸田 秀樹 議員

災害弱者である要援護者登録状況は

(質問)

未登録の人が、まだたくさんいる (答弁)

○質問 新潟県三条市では、災害弱者の登録方法を、平成16年・19年と災害が続き多くのお年寄りがなくなつた為に、災害弱者登録を本人からの手を挙げる方式をとつていたが、登録が進まない為に平成20年から登録予定者に対して市の方から「貴方は登録予定者ですよ」との連絡をして、返事のない方は自動的に登録をしていくという方法を取っている。つまり、個人情報保護法より要援護者名簿登録を優先(自分の情報より自分の命が優先)という方法を取り、災害時には避難行動の支援を必要とされる人、情

報伝達を必要とする人の2段階に分けて取り組んでいるが、本市での現在の取り組み状況は。

○防災局長 要援護者登録は、現在40名でまだまだ未登録者が多数いると思われる。今後関係者(自主防災会含む)と協議をし検討していきたい。

○質問 施行後40年の経過で、街路、下水道、公園等の整備もほぼ達成し、一定の成果があった。一方、線引がある為の弊害も見過ぎすことはできない。農業施策のまですさで後継者不足となつているにもかかわらず市街化調整区域内の農地保全を優先するあまり、実情にそぐわない課題があると

○質問 山川町の高越山中腹にある中ノ郷に今年も桜を咲かそうと、NPO法人元氣やまかわネットワークと社団法人とくしま森と緑の会吉野川支部が協同で平成19年から本年までに、吉野桜400本、山桜60本、しだれ桜4本

の計404本が植樹される。また、ここにはヘリポートがあるのでハイキング等に来られて緊急事態が発生しても直ちに救援活動が出来る。このようなすばらしい施設は全国的に見ても数少ないと思うが、市の観光施設の一環としてもっと協力的に取り組むべきではないか。

○産業建設部長 今後時間が経過すると中ノ郷に桜が咲き乱れ、桜の名所

になり、つつじ公園、高越登山を合わせた観光資源となるものと考えている。

【その他の質問】

○質問 祝祭日の公平なゴミ収集の予定は。

○答弁 平成22年度は最低1回でも回収したい。平成23年度からは、市全域での検討協議を行い、住民サービスに努めたい。

日	月	火	水	木	金	土
					1 段ボール	2
3	4 もやせるごみ	5 ふとん 新聞紙	6 缶 金属・びん	7 もやせるごみ ペットボトル	8	9
10	11 体育の日	12 ふとん 雑誌・雑がみ	13	14 もやせるごみ	15 段ボール	16
17	18 もやせるごみ	19 ふとん 新聞紙	20 もやせないごみ	21 もやせるごみ	22	23
24 31	25 もやせるごみ	26 ふとん 雑誌・雑がみ	27	28	29	30

ゴミ収集カレンダー (鴨島A地区)



## 平成22年 3月議会定例会

## 議案の審議から

日程：平成22年 3月 1日～ 3月19日

3月定例会では、条例関係案8件、予算案16件、その他3件が提案され、原案どおり可決されました。

## 産業建設常任委員会

▼請願第2号 鶏糞焼却施設の公害から自然環境と生活環境を守るための請願について

請願事項は、集落に公害が発生する恐れのある施設と断定し、同施設の在り方について、市に指導を求めるものであるが、この施設は県の関係条例等の規程に基づき、設置届が受理されているので、公害が発生する恐れがあ

るとは断定できないものである。よって、同施設が周辺農地に影響があるとも断定できないとの意見であり、このように本委員会では断定できない事項をもって、これ以上議論する事は出来ないとの事でありましたので、審査を終結し、採決を行った結果、不採択と決定。

▼議第9号 平成21年度吉野川市一般会計補正予算第5号について

質問 繰越明許費が非常に多いが、これは以前の臨時交付金の事業が消化できなかったのか。

今は、仕事が無く、困っている人が多い、経済の活性化という意味でも、仕事を出していかなければいけないと思うが。

答弁 平成21年6月議会の国からの経済危機対策の補助金、15億9136万4000円のうち、1億3885万円を今回の繰越明許費とした。

それとは別に、新たに平成22年1月28日に国の補正予算から、地域活性化・きめ細かな臨時交付金が創設され、本事業は補助事業を除く単独事業のハード事業で、各部合計3億1621万7000円を、3月議会に補正予算計上し、それを繰り越しているものである。

質問 公園に遊具を設置するということだが、どの公園なのか、また、どのような遊具なのか。



新しい遊具が待たれる向麻山公園



設置される遊具のイラスト



**答弁** 設置予定の公園は、向麻山公園、川島公園、バンブーパークで、遊具については、滑り台やスロープ等が付いている、幼児向けの据え置き型遊具である。

▼議第14号 平成22年度 吉野川市一般会計予算について

**質問** 川島城については予算を計上しているが、平成22年度から当分の間はいったん閉鎖して、1年間じっくり考え、次の事業の準備が出来てからスタートしてはどうか。

テニスコートだけなら、川島庁舎の地域課で、対応でき、人件費も掛からないと思うが。

**答弁** 平成22年度の川島城の運営については、川島城とテニスコートの管理が主になるが、川島城の喫茶室については、継続しない方針とし、将来については運営を行ないながら、将来の在り方について考えたい。

**質問** 市道クリーン作戦

事業委託料について、緊急雇用対策事業でシルバー人材センターに委託したとの事だが、一般向けの事業ではないのか。

**答弁** 一個人に委託する事は出来ないで、シルバー人材センターと委託契約し、シルバー人材センターを通してハローワークで募集し、緊急雇用対策事業として失業者を雇用する。

▼議第25号 ふいご温泉の指定管理者の指定について

**質問** ふいご温泉の指定管理期間は、平成22年度から3か年なのに、平成22年度に検討委員会を作って検討し、1年後には廃止や売却になるかもしれない。この部分については、今回の指定先である業者に対して、どのような話をしているのか。

**答弁** 検討委員会の中で、廃止や売却となっても、ふいご温泉の周辺には、河川や名越峡、また、民地部分もあり、土地の立

会、分筆登記、土地の評価、家屋の評価等をしてはならないので、ある程度の年限が必要と判断している。

◇以上異議なしで可と決定

**文教厚生常任委員会**

▼議第14号 平成22年度 吉野川市一般会計予算について

**質問** 補助金の対象となる老人クラブはいくつあるのか。また、活動補助金の配分はどのように決めているのか。

**答弁** 単位クラブは47クラブあり、老人クラブ活動補助金は市老人クラブ連合会理事会において、各地区の老人クラブへ配分を決定している。

**質問** 住宅用防災警報器設置事業補助金について、利用者が少ないのは申請の手続きが煩雑であるからだと思うが、申請の方法を簡略化できないのか。

**答弁** 補助金交付規則に基づいた申請となっているが申請書類の作成につ

いては、相談していただく。

今後、申請書類を精査し、簡略化できるよう検討したい。

**質問** 給食センターの建設にあたり、現場担当者の意見を聞いて協議をしているのか。

**答弁** 1月末に設計業者が決定し、現在打ち合わせを行っているところである。

ある。

新しいセンターは、衛生管理を第一に考え、安全衛生基準に基づきドライシステムを導入することにしている。

また、働きやすい環境とするために、現場の意見等を聞く中で、ガスと電化の比較検討資料の作成を依頼しているところである。

次に、児童が安心して食べられるおいしい給食を提供するため、地産地消を促進し、できるだけ地元のものを使用する方向で、JA麻植郡に依頼している。

センターの建設にあたっては、働く人に優しい環境整備を考え、委員会視察を行った米原市東部給食センターの施設が非常にいいものであったので、問い合わせ等を行い参考にしている。

**質問** 児童・子ども手当について詳しく説明を。また、全国知事会では、子ども手当の地方負担について、23年度以降は全額国負担とするようにしているようだが、吉野川市の考え方はどうなのか。

**答弁** 子ども手当は従来の児童手当を支給し、不足分を子ども手当として1人あたり1万3000円として支給することになる。

また、従来の児童手当が、地方負担であり、来



新しい給食センター予定地 (川島町)

## 総務常任委員会

▼議第14号 平成22年度  
吉野川市一般会計予算に  
ついて

質問 阿北火葬場管理組合負担金について、本市は鴨島に斎場を持っているので、一本化することを考えているのか。この問題は、合併協議会でも議論となり、早期に一本化しなくてはならないと協議された課題である。

次に、阿北環境整備組合の負担金では、本市は下水道事業を進めているので、負担金を大幅に削減することが出来ると考えるが可能であるのか。

答弁 現在本市は、阿北火葬場管理組合、吉野川市斎場の2か所を使用している。指摘の点については、昨年より幹事会を

設置し検討しているところである。  
阿北環境整備組合の負担金の問題については、本市の下水道事業の整備に伴い19年と21年に負担金の減額の要望書を提出している。組合では20年に幹事会を設置し、負担比率等の検討をしているところで、本市としては、負担の考え方を人口割りでなく、処理人口割りに置き換えるよう協議を進めている。

設置し検討しているところである。  
阿北環境整備組合の負担金の問題については、本市の下水道事業の整備に伴い19年と21年に負担金の減額の要望書を提出している。組合では20年に幹事会を設置し、負担比率等の検討をしているところで、本市としては、負担の考え方を人口割りでなく、処理人口割りに置き換えるよう協議を進めている。

質問 環境センターの臨時職員と派遣職員の問題について、臨時を派遣すると雇い上げ経費が増えるのではないか。これは行財政改革に照らすと問題があるのでないか。  
臨時職員と派遣職員の賃金は差があるのか。

答弁 臨時職員は、総務課に登録されている人材を雇用しているが、業務に危険が伴うことで1・2か月で辞めてしまう人もおり、臨時だけでは対処出来ない状況である。現場としては、連続雇用

が望ましいと考えている。賃金については、派遣会社と協議し、差が出ないようにしたい。

質問 臨時職員の雇用は1年間であり、現場の場合、業務になれてきた時期に解雇されるという状況がある。また、地域の雇用対策を考えれば規程等を見直し、3年間くらいは連続雇用できるようにすべきでないか。

答弁 地公法という22条職員は法律の規定があり、やはり法を執行する側のコンプライアンスとしてはおかしいので、1年かぎりとしている。  
継続して、勤めたいとの希望がある人については、派遣会社に登録してもらえれば、派遣会社は入札で決定することとなるが、優先的に雇用することが可能で、3年間は雇用できることとなる。

質問 鴨島A地区の振替休日の収集について、体制づくりはどうなっているのか。  
答弁 鴨島A地区の収集

については、22年度はカレンダーが既に作成されており、協議した結果、本年は、基本的にカレンダーのとおり進めたい。これは、市全体としての考えも必要である。しかしながら、5月の連休には時間が無く対応できないが、7月から9月の暑い時期に、振替休日がある中で、特別収集を実施することで、本年は対応したい。

質問 防犯灯の電気代1750万円の予算だが、発熱電球と蛍光灯では電気代が当然違うと思うが、どうなっているのか。  
また、防犯灯設置工事費には、蛍光灯に交換していく工事費も含まれているのか。

また、LEDに替えた場合は電気代が安くなることを考えるが、この取り組みを考えているのか。  
答弁 本市では、防犯灯を3860基、設置している。電気代は定額の対応で、発熱電球と蛍光灯の差はない。蛍光灯への

交換は年次的に進めているものでなく、故障時に交換しているものである。次に、LEDにした場合は、電気代は若干下がると聞いている。LED灯の整備は、本年度37基、22年度川島・山川中学校周辺で58基を予定している。

◇以上異議なしで可と決定

## 庁舎統合特別委員会

▼中間報告

委員からは、川島・山川庁舎を幼稚園、保育所に活用することについて、山川庁舎は幼稚園、保育所の施設として活用できるか疑問である。また、山川庁舎の場合、園庭が北側で、日の当たらない所となり、子どもたちの生活環境上問題があるのではないかと質疑があった。

続いて、空き庁舎を幼稚園、保育所に活用することありきで計画が進められているようであるが、再度地域の方々の意見を聴取する中で時間をかけ、幅広く、活用については見直すべきでないか。  
また、庁舎改修事業も多額の費用を要すると思うが、改修費用と新築費用を比較し、変わらないのであれば、新しく建て替えることも、考えることができるのではないのか、などの質疑があった。

また、本特別委員会は、庁舎統合するにあたり、増築棟の建設用地、建設位置、施設概要等の審査が主たるものであり、空き庁舎の有効活用については所管の常任委員会と協議するべきでないか、との意見があった。

## 意見書

▼保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書

提出者 北川麦議員

◇異議なしで可と決定

# 本会議案審議

## 平成22年度 一般会計予算について

### 議案質疑

**藤原一正議員** 庁舎整備事業費の2億9758万2000円について詳しく説明を願う。

**答 弁** 12節役務費で建設予定用地取得のための境界確定・分筆登記等の手数料として233万2000円、13節委託料で増築棟建設等の基本・実施設計費用及び地質調査費用として4525万円、17節公有財産購入費で建設予定用地及び進入路予定用地を取得するための費用2億5000万円を予算計上している。

設計費用として鉄骨鉄筋コンクリート造り3階建て、延べ床面積約3000㎡の増築棟と、鉄骨造り2階建て、延べ床面積約600㎡の倉庫等の基本設計等を予定している。

用地取得費として市役所庁舎東側の県有地約9200㎡及び個人所有地約1500㎡を取得し、増築棟建設及び進入路整備を計画している。

**再 問** 予定している増築棟の延べ床面積で、川島・山川庁舎の職員が集まってきても、市民のためになるような施設を設

置できるスペースはあるのか伺う。

**答 弁** 川島・山川庁舎に配置している健康福祉部・水道部・教育委員会の配置や会議室等を含めた規模として最小限の面積で試算している。

**再々問** 最小限の面積という事ですが、職員数はいくつでも減らすとしますので、職員が集まるためのだけの行政の箱物ではなく、子育て支援センターや図書館等を設置した市民のための箱物となるよう、設計に入る前に協議していただく事をお願いしておきたい。

# クイズ

□に入る漢字は？	
例	通 → 年 ↑ ↓ 融 ← 金
1問	定 → A ↑ ↓ B ← 明
2問	C → 世 ↑ ↓ 退 ← D
3問	風 → E ↑ ↓ F ← 上
4問	G → 実 ↑ ↓ 出 ← H

◎ 正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

◎ 応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか？次号で紹介します。

◎ 送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番1  
TEL0883-22-2241 FAX0883-22-2242  
◎ 締め切り日／平成22年7月9日（消印有効）

### チョットひと言

☆いつもは辞典を片手にチャレンジですが、今回はタウンページを片手に確認でした。  
 ☆地図に書き込むのと違って頭の体操になりました。（鴨島町 亀井さま）  
 ☆クイズが解けた時はうれしい気分になります。（鴨島町 華岡さま）  
 ☆クイズで八市の名前が分かりました。（川島町 米村さま）  
 ☆県名当ての方が易しかったかな？（鴨島町 多田さま）  
 （鴨島町 高浜さま）

- ◎（前回の解答）①吉野川市 ②徳島市 ③美馬市 ④三好市
- ⑤阿南市 ⑥阿波市 ⑦小松島市 ⑧鳴門市 応募総数は33通でした。



# 市民のページ

## 川高球児へのエールに感謝

鴨島町西麻植 稲井 清美

「ありがとうございます

ました」フエンス越しに野球部員18名が深々と頭を下げました。応援席からは「ようやった！」と大きな拍手の渦が巻き起こり目頭が熱くなりました。

約2ヶ月前の1月29日、川島高校はセンバツの二十一世紀杯に選ばれました。本紙でも報告を受けた野球部員が飛び上がって喜んでいる姿が表紙に掲載されました。

甲子園での初戦に向け、球児達が練習や清掃活動等に取り組んでいる間、学校では至誠会や商工会議所、PTAによる特別後援会を設立、甲子園の

応援に向け動き出しまし

た。新聞では連日、球児達や野球部関係者の記事が掲載され、甲子園の偉大さを実感しました。

開会式の入場行進。やや緊張気味ながらも大きく腕を振り堂々と行進する中、対戦相手の大垣日大は「本大会出場校の中で、唯一公式戦負けなしのチーム」、川島高校は「部員数18名。出場校最少チームです」と紹介されたのが印象的でした。

当日は、全国からアルプススタンドを埋め尽くすほどの応援団が集まりました。「自分達が生きているうちに甲子園の応

援に来れるとは思ってもみなかった」と喜ぶOBの方もいらっしやって、川島高校の伝統の重さを感じました。

球児達の勇姿は二十一世紀杯に選ばれたにふさわしい、とてもですががしく落ち着いたプレーで強豪を翻弄させました。その功績は閉会式で大会長にも称讃されました。また応援団が最優秀賞に選ばれました。Kのマークの人文字には中学生も

30年のNTT勤めを終えてから、試行錯誤の生活15年、70才からの私の体験をまとめました。

## 私の健康趣味社会貢献の体験

吉野川市山川町 川見 進

こり、気管支炎、蓄膿症などの病気があり、退職後は前立腺肥大になりました。

2・囲碁

そんな時水呑みが健康に良いことを知り、毎日2・5リットルの水をのみ始めました。21年前70才の時

三、社会貢献

です。一年余り過ぎた頃ほぼ健康体になっていました。これは水呑みもたらせた自然治癒力だと思っ

1・レジ袋の活用  
スーパー書店などで、一度も買ったレジ袋は、それが使えなくなるまで持参していただきます。この目的を生かした取り組みを、他でも色々やっています。これを始めて6年になります。

球児達に夢を与えてもらったこと、そして球児達にエールを送って下さった全国の皆様に感謝の気持ちを伝えたい。

2・歩き  
40分程の朝歩きを続けています。

2・外出時のゴミ処理  
市内へ出たときや小旅行のとき出るゴミは、持ち帰って処分しています。

3・咀嚼  
食べ物も50回噛むことにしています。

一、健康  
1・水呑み  
NTT在職中から、原因不明の頭痛や肩

二、趣味  
1・家庭菜園  
有機栽培にしています。



## 募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規 定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成22年7月9日（消印有効）  
発行は8月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL(0883) 22-2241  
FAX(0883) 22-2242

募

集

## 表紙の写真

市民の皆さんの  
声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

## ↓ 規 定 ↓

- 400字詰原稿用紙2枚以内
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記（匿名希望の場合も）
- 締め切り
- 平成22年7月9日（消印有効）
- \* 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

## ↓ あて先 ↓

〒776-8611  
吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL (0883) 22-2241  
FAX (0883) 22-2242

このやま  
向麻山公園

## しだれ桜の名所に

向麻山は四国山脈石槌山系に属し面積30ha、標高91.8m、頂上への道は3本ありますが車が通れるのは東方一本だけです。

頂上には竜眼神社・御嶽神社があります。向麻山の名称は吉野川をへだてて大麻山に向っていることからこの名がついたといわれております。この一帯を都市計画公園として山の裾野に児童公園やテニスコート・グラウンドゴルフ場があり、冬には地元の有志が小学5年生、6年生と共に各自の願いを込めたイルミネーションの電飾等市民の憩の場となっています。

平成11年に地元上浦地

## あとかぎ

区の皆様や鴨島町有志の寄付により、しだれ桜の苗木を100本植樹し、毎年下草刈等の手入れをしてきました。

現在は「向麻山を良くする会」が吉野川市より指定管理を受け公園の維持・清掃管理をしています。今年はしだれ桜・吉野桜・八重桜・山桜と種々の花が美しく咲いてくれました。花見の時期には弁当を持ち多くの人が花見にこられました。「こんな近い所にこんな美しい場所があるとは知らなんだ、来年も来たい」と多くの人が言っていました。来年もきっと今年以上に美しい花が咲くことでしょう。

近久 善博